

福岡県労連

KEN & ROREN

ZENROREN

2022
1月号
No.181

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822
編集発行 福岡県労働組合総連合
福岡県労連 検索



〔定価〕
1部10円

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード：mamoreheiva (2/1～2/28)

新年の「あいさつ」



県労連議長 山下 和博

2022年が明けました。願わくは、今年こそ「コロナ禍」終息の年となることを。そして、私たちの「日常回復」への足掛かりとする為、喫緊の課題である「地球環境問題・自然破壊問題」に、私たちが本格的に向き合える年となるように。

ある先生が言われています。新型コロナウイルスの蔓延は環境破壊に起因する可能性が高いと。多くの森林破壊が人類と新しい野生動物との距離を縮めてしまった。人間は飛沫を飛ばして社交して飛行機で世界中を飛び回る。ウイルスにとってこんな便利な乗り物はない、という訳です。私たちが単純に「元の世界に戻って」も、それこそ「元の木阿弥」。私たちは、新たなウイルスによる新たなパンデミックの世界に戻る訳には行きません。

『蟹工船』の作者小林多喜二は言ったそうです。「小作人と貧農には、如何に惨めな生活をしているか、が問題なのではなく、彼ら自身がそのことを知らずにいる事が問題であり、それこそ明らかにしなければならぬ第一の重大事であると思う」と。

選挙、特に衆議院や参議院の国政選挙では、約3割が政府与党を支持し、約5割が棄権すると言われます。どう控えめに考えるにしても、この国の約9割の人々は大富豪や豪農ではありません。要するに、この国の多くの皆さんは「自分が誰なのかご存知ない」ということでしょうか。7月の参議院選挙まで約半年しかありません。「自分が誰なのか」を如何に多くの人々に知って貰えるようにできるのか。今年も一緒に力強く歩いて参りましょう。

選挙、特に衆議院や参議院の国政選挙では、約3割が政府与党を支持し、約5割が棄権すると言われます。どう控えめに考えるにしても、この国の約9割の人々は大富豪や豪農ではありません。要するに、この国の多くの皆さんは「自分が誰なのかご存知ない」ということでしょうか。7月の参議院選挙まで約半年しかありません。「自分が誰なのか」を如何に多くの人々に知って貰えるようにできるのか。今年も一緒に力強く歩いて参りましょう。

総会では代表幹事会を代表して山下議長挨拶のあと、「22国民春闘大幅賃上げ底上げで誰もが希望を持てる公正な社会を 労働組合で一緒につくる」のスローガン、春闘経過報告、方針案、収支報告、予算案、役員案の提案を行い、満場一致で採決をしました。とりわけ方針案の中では、最賃額が28円引き上げられ月額にして4800円となる中、22春闘ではストライキ権を確立させ、最賃額を下回らないベア実現も提案されました。なお、予算案方針案は第1回代表幹事会で決定します。

午後からは、まず立命館大学経済学部松尾匡教授を招いて、「支配階級の二天戦略」に対抗して「大幅賃上げ社会保障充実の道」をテーマにした学習を行いました。松尾先生からは、この間の安部晋政権が進めてきた「アベノミクス」の真の狙いが明らかにされ、この内容に非常な怖さを感じました。

具体的には、少子化問題非正規労働者の増大賃金引き上げの問題、社会保障改悪など、支配階級は自分たちの利益のためだけに政策を進めることを求めているため、新自由主義にもとづく「アベノミクス」は確信を持って進めてきている。

また、アメリカが入っていないTPP推進もアジアで日本が他国より有利な貿易を行い利益を上げるために必要であり、TPP導入の際に私たちが危惧した「ISDS条項」も、日本が不利にならない様に必要だから進め

ている指摘に、この間の支配層が進めてきた「アベノミクス」の真の問題点を共有することが出来ました。この間すでに日本経済活動の二年間の利潤20兆円のうち10兆円は海外で稼ぎ出している現状があり、国内で利益を上げることを重点に考える必要が無い。GDPをさらに大きくすること、そのために求められる消費拡大賃金引き上げは考えていないとさらに続きました。

私たち労働組合は、政治の動きにさらに敏感になり、従来の闘いに留まらず闘いを大きく強化すること、さらに公務員間正規非正規が一体となつて闘うことが重要であると話されました。

その後の討論では、県教労永吉さん、医労連矢野さん、北九州地区労連永富さん、建交労阿部さん、県国公・江崎さん、郵政ユニオン・田尻さん、福岡地区労連米地さん、自治労連懸谷さん、福建労永松さん、国労福岡さん、県国公・恵藤さんの11人からの発言があり、文書発言がTNC労組・倉谷さんより出されました。

寒空の下、1月6日からスタート 今年初の宣伝行動

福岡市



北九州市



1月6日に県内各地で新春宣伝行動を行いました。
福岡では7組合14人の参加で、チラシを折り込んだティッシュを300個配りました。
北九州では午前午後2回の行動で、参加者計24名で800個のティッシュを配りました。

22福岡県民春闘共闘総会・討論集会

組合員の要求を結集し団結の力で勝利しよう！

なぜアメリカの入らないTPPにこだわる？
・日本は先進国として突出する。

・内閣官房のTPP政府対策本部のサイ企業が現地政府を訴えることができるISDS条項について、
「海外で活躍している日系企業先国の協定に反する規制やその損害を被った際に、その損を補うために有効な手段の一つに」
<http://www.cpa.go.jp/tpptalk/tpptalk01-5>

支配階級の大戦略

- ・いままでのような生産物、特に、大衆消費財とその他のための生産手段は、国内で生産するのをやめ、市場が成長する新興国に進出して生産する。
→そこから日本に輸出
- ・日本に残るもの①
サービス業(高齢化で必要になる介護なども)
→非正規の低賃金労働
- ・日本に残るもの②
→一部の高付加価値分野

紹介されたパワーポイントの一部



パワーポイントを使った松尾先生による学習会



山下議長による挨拶

22 福岡県民春闘共闘総会・討論集会は12月12日(日)に、県労連加盟組合・地区労連から38人、春闘共闘加盟組合から8人の合計46人の出席で開催されました。

第77回評議員会

【日時】
2月6日(日)
13時30分～17時

【場所】
オンライン開催

討論集会の最後は山下議長
の音頭で団結頑張ろうを行い、
22春闘で必ず勝利することを
参加者で決意して終了しまし
た。



協力して準備をし、気づけば行列が

年の瀬も迫った12月26日、福岡地区労連やいの健福岡などの団体で構成される実行委員会主催でコロナウイルス感染拡大の影響による困窮者を支援するとりくみとして街頭相談会と食糧支援を行う「街角なんでも相談会 in 警固公園」を開催しました。

この取り組みは昨年末も警固公園で開催され、2021年6月にも吉塚公園で開催し、計3回目となります。当日は朝から雪が舞う凍えるような寒さでしたが、50名を超えるスタッフが会場に集まり、手分けして準備を行いました。食糧支援ではお弁当と温かいスープ・お茶の提供を行いました。また、みのもんた農産物組合から提供いただいた野菜や食料品などの配布、新婦人から提供いただいた衣類の配布を行いました。お弁当は80食お渡しすることができ、相談は5件

12月26日

街角なんでも相談会 困窮者へ温かい手を



心のこもったお弁当やスープを提供

ありました。

相談内容は仕事がなく住むところを失い、知人の家を転々としているという相談や体調不良で仕事を失い、持ち家はあってもホームレスにはならず、済んだものの収入がなく、金銭が払えないため電気ガスが止められていたなど深刻な内容でした。どちらの方も生活保護については窓口での受給拒否や扶養紹介がハードルとなり、給にいたっていませんでした。取り組みの教訓としては生活への不安はますます広がっていること、一方で困窮しているにもかかわらず、責任の意識から助けたいという実態があることが窺い知ることができました。「自助」「共助」ではなく「公助」を広げ、憲法25条に基づいた人間らしい生活を保障される社会の実現を目指し、今後も取り組みを続けたいと思います。



年金裁判についての報告集会

年金者組合は、相次ぐ年金引き下げに対して、2015年に全国の地方裁判所に提訴して6年、多くのみなさんに支えられ闘ってきました。昨年7月に福岡地裁で不当判決が出され、控訴して福岡高裁で4回の口頭弁論が開かれ、

年金裁判4月20日に判決

12月22日に結審。4月20日に判決が出されることになりました。

地裁では連戦連敗でしたが、地裁での闘いの積み重ねで、高裁段階で少し変化を起しつつあります。高裁で今問題になっているのは、年金減額の経過について、あるいはその理由について国に説明責任を果たさせる、高裁もその立場で国に求めています。

12月22日の裁判では、原告を代表して福岡県本部の星野副委員長と弁護団団長の山本弁護士が国と福岡高裁に対して総括的な陳述を行いました。

いま、福岡高裁に向け

消費税 団結力で消費税引き下げへ



一致団結して消費税引き下げを訴える

12月17日に博多駅紫口前で福岡県消費税廃止各界連絡会は、大宣伝行動をおこないました。各界連は、「消費税導入反対」の一点で大同団結した労働組合や女性・業者・市民団体、政党で1987年1月24日に結成されました。消費税が導入されて30年以上経過しています。切り捨てられる社会保障制度と合わせて消費税増税が、私たちの暮らしと暮らしを圧迫しています。街頭では消費税5%引き下げのプラカードを掲げて、訴えをおこないました。

絆を合わせて今後の発展に！



交流を深めて集合写真

福岡県労連では第23回定期大会において組織拡大のための体制をつくることを目的に産別に属さない中小企業の労働者を対象にした全労連・全国一般と個人加盟の地域ユニオンである地域労組きずなの組織統合を方針としていました。その方針に基づき両労組で討議を重ね、12月5日に統合大会を開きました。

統合大会では、まずは地域労組きずなの大会を開き、参加組合員の合意のもと全労連・全国一般福岡県本部に加盟することによって組織を二つにすることが確認されました。

続いて全労連・全国一般の大会が開かれ、役員体制が確認されました。

大会では組織統合の確認のほか、参加組合員からそれぞれの労働争議の報告と近況報告がありました。今後は組合員の交流の場として職場交流集会を開催を予定しています。

この本
おすすめ

「空腹こそ最強のクスリ」

青木厚 著

アスコム 1,540円



紹介する本は、青木厚著書の『「空腹」こそ最強のクスリ』です。

この本では、冒頭に「ものを食べない時間」を作り、「空腹」を楽しむ。それだけで、病気知らずの体が手に入り、睡眠時間を含めて16時間空腹状態

を作れることを推進しています。人間の体は細胞が飢餓状態に陥ると活発化し、細胞内の古くなったたんぱく質が新しく作り変えられ、細胞が内側から生まれ変われば、病気を遠ざけ、老化の進行を食い止めることができるという二冊をお勧めします。「ダイエットは今日から！」です。

(内田大亮(県労連副議長))

編集 後記

明けましておめでとうございます。といってもこの新聞が皆さんのお手元に届くのは1月も半ばを過ぎたころでしょう。いつまで「明けまして〜」という挨拶ができるのか、ネットで調べてみると「元旦の大正月、1月15日の小正月」と言われていて、この15日までがおおよその「あけおめ期間」のようです。ということで少し時季は外れてしまっていますが、気分を一新して様々な課題に立ち向かうため、改めて本年もよろしくお願い申し上げます。(げ)